

としやレポート

2014年7月号

E-メール...toshiya@nakata-toshiya.com

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2014年7月1日 第2号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会

部
内
資
料

<中田区域>
江並中・南中・東中
北中・星和中・赤坂中
宇留生小・墨俣全域



としや目線の6月議会 2040年、自治体消滅？



自民クラブや、市民ネットワークなど他会派の議員から、自治体消滅に対する危機感が語られました。

「このままのペースで人口減が進むと、2040年には若年女性人口が半減し、医療・介護保険等の自治体機能が維持できなくなり、消滅する可能性がある自治体が、西濃では複数ある」とした調査を紹介。

「大垣市は現段階では消滅自治体とは指定されていないが、子育て世帯に選ばれまちを目指してさらなる努力を」と結びました。

「消滅自治体」の言葉のインパクトが強烈でした。今後も人口動態と子育て支援政策には要注目を続けたいと思います

大垣競輪場のジレンマ

6月議会の経済産業委員会で、競輪事業の2013年度収支が黒字になり、大垣市会計に1億5000万円が繰り出されたと報告がありました。

しかし、参加者層の高齢化、入場人員減など、公営ギャンブル離れの流れは続いていくものと考えられます。他の議員からも将来的には競輪事業の廃止の可能性を問う声も出ています。

現在の黒字化と将来の赤字予測。「競輪場のジレンマ」にどのタイミングでどう判断を行うか。市民の意見をまとめてみたいと思います。

「写真：日曜日だががらんとした競輪場駐車場でマイクを握る
笹田トヨ子市議」

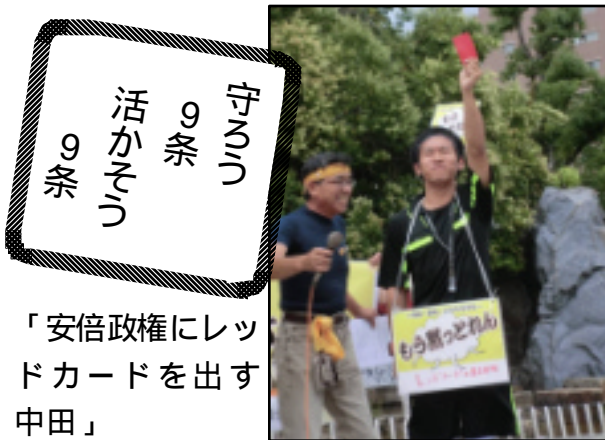


”平和、自由、いのちを守る” もう黙っとれん！ 1000人パレード



黙
っ
と
れ
ん

6月21日「～平和、自由、いのちを守る～6.21もう黙っとれん1000人パレード」に参加しました。安倍政権が押し進める集団的自衛権の行使容認や原発再稼働を急ぐ動きは、私たちの生活に直接影響を与え、これまで私たちが守ってきた平和、自由、そして生命さえ脅かすものとなり得ます。そんなものには黙っとれん人たちが1000人以上参加、賛同人も600人超となりました。

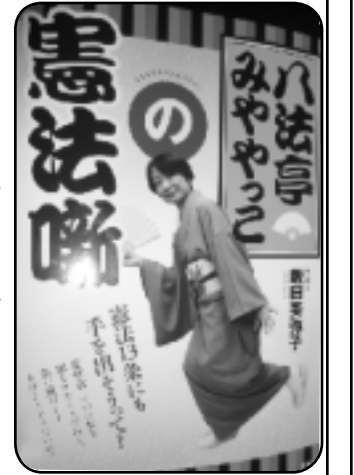


守
る
こ
う
9
条
活
か
そ
う
9
条

「安倍政権にレッドカードを出す
中田」

八法亭みややっこの憲法嘸

日時:7月21日(祝)
午後1時30分開場
ところ:大垣市総合福祉会館5階ホール
主催:日本共産党大垣市後援会
問合せ:
0584-78-6865



「憲法嘸」の落語で今や超売れっ子の「八法亭みややっこ」こと飯田美弥子さんは環境問題や労働事件に携わる八王子合同法律事務所の弁護士さん。自由法曹団の5月集会で「是非大垣にも来てください」と無理なお願いをして、7月21日の高座実現となりました。「憲法の由来、大切さを楽しみ語り、自民改憲案を痛快に切る」憲法落語、是非皆さんのご来場をお待ちしています。
笹田トヨ子

としや紹介

としやとおやこ劇場



くったくのない表情で、人前で自分をさらけ出すのをそれほど苦にしない様子にみえるとしやさん。幼いころからお母さんの思いで参加した「おやこ劇場」でその素地が形成されたのかも知れません。

本人によれば、野球少年団の方に心がより多く向けられていたといいます。練習量も多く時間にもしばられるので当然ともいえます。けれど、島里のおやこ劇場のグループは、仲間の子のお母さんや劇場の役員の方々が自

分の子と分けへだてなく世話もしてくれて、自然な気持ちでいられたといいます。

大学時代になってから、おやこ劇場の存在意義が理解できるようになって、金沢の地で、また卒業後には大垣で、青年部としておやこ劇場に集まる子どもたちと積極的にかかわるようになりました。この視点を見失うことなく活動してほしいものです。

(中田としや後援会)

議会報告会のお知らせ

日時:7月13日(日)13時30分～
場所:市民会館別館
笹田トヨ子市議の報告内容:介護保険制度の改悪で大垣市の介護事業はどうなるか？

国民の立場で真実を伝え続ける赤旗新聞をお読みください。
日刊紙...3497円 日曜版... 823円

定数削減が議会改革？

市議会自民クラブは、議員定数を24から22に減らす条例改正案を9月議会に提案する方針を議会運営委員会に提案しました。

上石津・墨俣との合併後、前回選挙から定数が24議席に改められたばかりで、続けて2議席を削減するなど、良識が疑われます。



理解できない提案理由

3月・6月議会の会期末の議会運営委員会での自民クラブの説明によれば、定数削減は議会改革の1丁目一番地であり、よりすぐれた議員が選ばれ、多様化する市民の声に応える必要がある、逼迫した市の財政にもいっそう貢献できる、としています。

グリーン車料金問題でめばえた議会改革

市議会では、平成24年度より議会改革一点で統一会派が結成され、グリーン車料金問題を契機に住民監査請求など住民参加型の市政になってきました。しかし、自民クラブの中には、この動きに同調せず、かえって「それならばグリー

ン車に乗ればいいでしょう」という態度で、その後の視察にはグリーン車を利用する議員もいました。

グリーン車を利用しなくてもそれほど疲れることもなく確実に席が確保できる今日、それを見直すこともしないで定数削減などをいきなり持ち出すなど、議会改革という資格があると思えません。

市民の声を届ける議会での討論こそ議会改革の本道

「民主おおがき」6月号でも掲載されたように、議会は、広がった大垣市の全域の市民の声をしっかりつかんで行政に届ける役割を持っています。

そのためには一定数の議員が必要になります。議員は多様な資質を生かして、絶え間なく市政のあり方を研究する必要もあります。

低調な議会一般質問 発言回数少ない議員

6月の市議会の一般質問は一日だけ行われ、発言者は11人でした。自民クラブの議員の一般質問は2人ととどまります。

国会は総理大臣が最大会派から選ばれ、与党としての政策を内閣が実現していきますが、地方議会(大垣市)では、首長(市長)は独自に選挙で選ばれ、最大会派から選ばれているわけではありません。したがって、最大会派が国の与党のように安住してくれては、市民が困ります。

大垣市の議員定数は他自治体より少ない

別表は、人口が15万人以上17万人未満と、大垣市と人口が似ている市の議員定数と議会での質問日数・質問者数を調査したものです。

地方自治法ではこの規模の議員定数を34人としていましたが、今では自治体独自に定数が決められるようになっていきます。しかし、地方自治法の趣旨を汲んで今もそのままの定数の自治体もあり、平均の議員定数は28人です。大垣市は決して多くありません。他の自治体より逼迫した財政だということならば、それを市民に丁寧に説明すべきです。

議員の発言も多く 改革に努力する議会

また、他の自治体議会での議員の発言数は、平均して64%におよびます。病気ででもなければ、必ず質問に立つ慣習だと思われる自治体もあります。

平成26年度6月議会一般質問日数・質問者数一覧

No.	都道府県	市名	2010人口	議員定数	質問日数	質問者数	代表質問
1	宮崎	都城	169602	34	6	28	
2	静岡	磐田	168625	26	2	11	
3	北海道	帯広	168057	32	4	17	○
4	三重	松阪	168017	28	3	18	
5	愛媛	今治	166532	34	2	11	○
6	千葉	浦安	164877	21	4	17	○
7	千葉	習志野	164530	30	6	23	○
8	栃木	小山	164454	30	4	17	
9	千葉	流山	163984	28	4	18	
10	宮城	石巻	160826	34	4	20	
11	長野	上田	159597	30	3	26	
12	埼玉	新座	158777	26	6	24	
13	茨城	ひたちなか	157060	25	2	10	
14	兵庫	川西	156423	26	3	17	○
15	埼玉	狭山	155727	22	3	16	○
16	千葉	野田	155491	28	3	14	○
17	栃木	足利	154530	24	2	10	
18	埼玉	久喜	154310	34	5	25	○
19	東京	東村山	153557	25	3	22	○
20	岐阜	大垣	161160	24	1	11	
平均				28		64%	

- ★ 人口15万人以上17万人以下の都市は20都市あります。
- ★ 一般質問の他、代表質問・総括質問・議案質疑の時間を設けている都市が9都市あります。
- ★ 大垣市を除く都市では議員の64%が質問に立っています。

議会での発言は議員を成長させます。質問のための市民の声の把握やその問題での調査・研究は欠かせません。回答に立つ行政の側も同様です。議会・行政が質問を通じてその問題を見直し、緊張感を持って深めていくことができず、誠実に議員の役割を果たす中でより優れた議員に成長していく

ことを市民は期待します。議員が少なければ、財政的にはゆとりができるでしょう。しかし、議員の席に安住することは、議会の停滞・市政のマンネリ化が避けられません。自民クラブの定数削減提案は、議会改革の名に値しない、党略的なお手盛りの案としか言えません。